

韓国における ドイツ文学の翻訳と受容

——多和田葉子の作品を中心に

Übersetzung und Rezeption der deutschen Literatur in Korea
— mit besonderer Berücksichtigung der Werke von Yoko Tawada

11月13日 (木)

16:00-17:30

場所：東京外国語大学研究講義棟 107 教室

* 西岡あかね先生の授業の枠内で行われる講演ですが、どなたでも参加できます。

講演者

ユンヨン・チョイ教授(ソウル大学校)

専門はドイツ文学。ソウル大学校人文学部で要職を歴任、ドイツ、韓国、アジアにおけるドイツ文学のさまざまな学会組織で運営にも精力的にたずさわる。

著書『エクソフォニー 多和田葉子のエクリチュール』（韓国語）の他、エツダマー『母の舌』、多和田葉子『うろこもち』、『雪の練習生』をはじめとして、数多くのドイツ語作品の韓国語への翻訳を手がけている。

司会

西岡あかね（東京外国語大学准教授）
山口裕之（東京外国語大学教授）

言語

ドイツ語・日本語

（講演はドイツ語ですが、日本語通訳がつきます。質疑応答も日本語で大丈夫です）

主催：総合文化研究所